

母校の後輩たちを激励

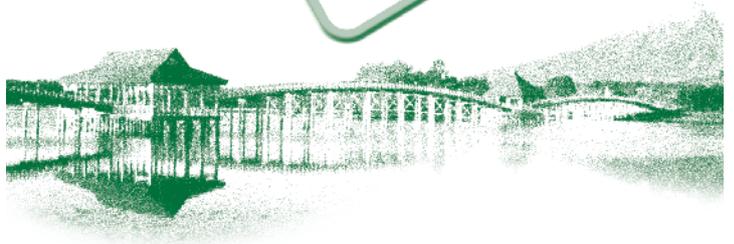
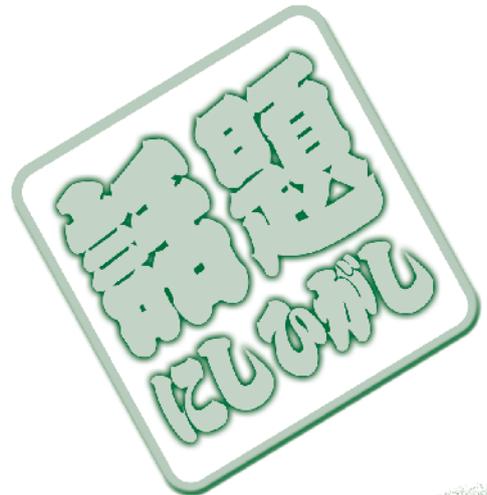
プロバスケットボールBリーグ2部・青森ワッツのアソシエイトヘッドコーチの北谷稔行さんが9月5日（土）、母校の鶴田中学校を訪れ、OBの有志とともに同校バスケットボール部にボールを5個寄贈しました。

コロナ禍で試合などが満足にできない中、少しでも支援できればと、北谷さんら同校OBが寄贈を決定。同校体育館で選手たちにボールを手渡しました。

北谷さんは「(コロナ禍で)試合ができないのはつらいかもしれないが、下を向かずにこの経験を生かしてこれからのバスケット人生を歩んでほしい」と激励の言葉を贈り、生徒たちも気持ちを新たに練習に取り組んでいました。



△後輩にボールを手渡し北谷さん



あなたの地区の楽しい催しや出来事などがありましたら、役場企画観光課まちづくり班（内線262）までお知らせください。

母親の立場から交通安全を考える

9月11日（金）、青森県交通安全母の会連合会（豊川幸子会長）が西北ブロック研修会を国際交流会館で開催しました。

「交通安全は家庭から」の理念のもと、地域の交通安全活動を行っている同会。この研修会では、西北地区の会員が一堂に会し、「母親の立場から交通安全を」をテーマに、交通安全を推進し、交通事故のない安心安全な町づくりに寄与することを目的に行いました。参加者は、研修会を通して安心安全な地域を実現するための取り組みに理解を深めていました。

町交通安全協議会と町交通安全母の会では、10月末まで、毎週水曜日の朝に鶴田小学校校門前で交通安全街頭啓発を行っています。



△参加者たちは事故のない社会を目指すよう決意を新たにしました

募 金 運 動 を 応 援！

10月1日から始まった赤い羽根共同募金運動に合わせて、鶴田町共同募金委員会と青森県共同募金会は鶴田町マスコットキャラクターを使用した「つるりん赤い羽根ピンバッジ」と戸別募金ステッカーを作成しました。

9月17日（木）には、県共同募金会の元木篤子会長が町役場に相川町長を訪ね、ピンバッジの紹介を行いました。元木会長は「ピンバッジを通じて町民の皆さんに赤い羽根共同募金がより身近に感じていただけたら幸いです」と話していました。

ピンバッジは500個限定。町社会福祉協議会内にある窓口で、500円以上の募金のお礼として1個贈られます。



△つるりんバッジと戸別募金ステッカー

へら鮎を津軽富士見湖に放流

9月17日（木）、廻堰大ため池内水面漁業協同組合が津軽富士見湖でへら鮎の放流を行いました。

昨年は水温被害によりへら鮎の放流を行っていませんでしたが、放流は毎年行っており、今年は約6,000匹の稚魚を放流しました。



△へら鮎の稚魚を放流しているようす

ヒガンバナが咲きました

9月下旬、津軽富士見湖堤防の花壇のヒガンバナが開花しました。このヒガンバナは町が友好交流協定を結ぶ鹿児島県さつま町から贈られたものです。

今年度は、陸奥鶴田駅前の花壇と役場前町民プラザでもヒガンバナを見ることができます。



△津軽富士見湖堤防に咲いたヒガンバナ



残暑も終わり朝晩は涼しいを通り越し、寒い日が続いています。朝晩と日中との寒暖差で糖度が増すスチューベンには嬉しい季節です。そんなスチューベンとは別に「はちみつブドウ」という品種のブドウも育てており、9月中旬より出荷が始まり、収穫→選果→箱詰め作業に追われる日々です。大変ですが何事も初めての経験ばかりで新しい気づきも与えてくれるので、忙しさが不思議と苦ではありません。

「はちみつブドウ」を終わらせたなら、次は1年を通して栽培してきたためごいスチューベンの出荷作業がいよいよ始まります。最後まで気を抜かず頑張っていきます！



△出荷前のはちみつブドウ

地域おこし協力隊の活動内容は、SNS (facebook、Twitter、instagram、blog) でも確認することができます。(鶴田町HPにリンクを貼り付けています。)

鶴田町HP⇒<http://www.town.tsuruta.lg.jp/>